

# 学ぶことの大切さと 楽しさを



経済学部長

こぐち よしあき  
小口 好昭

全国から、そして海外から経済学部に入学された皆さん、おめでとう。ご父母の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

経済学部は来年、学部創設100周年を迎えます。目下、いろいろな記念行事を実施していますが、その一つとして、今年後期から3年連続で、OBからの寄附による寄附講座がスタートします。大企業のトップをはじめとする多彩な講師陣が、皆さんに生き生きとした経済の動きを語ってくれます。また、在学生からの記念論文を募集しますので、ぜひ応募してください。

ところで、経済学部で一体何が得られるのでしょうか。受験勉強から解放された今、ふっとそんな思いに駆られているのではないのでしょうか。何が得られるか。どのような成果が生まれるのか。それは、皆さんが何

を得ようとするのか、そのために自分からどのような行動を起こすかにかかっています。

いろいろな分野で、経済学の力をつけた人材が必要とされています。企業で活躍するためにはもちろんのこと、公認会計士などの職業会計人や法律家にも経済に強い人材が求められています。今年4月に開校する法科大学院いわゆるロースクールは、経済学部出身者が法律家になることを期待しています。そこで経済学部は、法科大学院に進学するために学部を3年間で卒業できる早期卒業制度を設け、経済に強い法律家として活躍する諸君を応援します。

大学時代は、自由な時間がたくさんあります。自立した良識ある市民へと成長するために、経済学部での4年間に、学ぶことの大切さと楽しさを大いに味わってください。